

# 「エモい」は現代版「あはれ」なのか： 個人別態度構造分析に基づく検証

## Is ‘EMOI’ a Modern Version of ‘AWARE’ ?: An Investigation Based on Personal Attitude Construct (PAC) Analysis

安藤 千夏\*・中山 聡\*\*・山上 英絵\*\*\*・伊藤 彰浩\*\*\*\*

Chinatsu ANDO, Satoshi NAKAYAMA, Hanae YAMAGAMI, Akihiro ITO

### 問題の所在

本論文の目的は、「エモい」のイメージが個人の心の内でどのように構成されているのか検討することである。初めに「エモい」と「あはれ」に関する研究を概観し、「エモい」が現代版「あはれ」であるならば、「エモい」は「あはれ」を規定する感情の本質的要素を持つ可能性を示す。次に「エモい」を用いる個人に焦点を当てた研究の意義について論じる。そして、設定された研究課題を検討するために個人別態度構造分析 (Personal Attitude Construct Analysis、以下 PAC 分析) を実施する。最後に PAC 分析の結果に考察を加え結論を導く。

### 「エモい」と「あはれ」に関する先行研究の概観

近年、日本の若者は「エモい」という言葉を用いる。若者たちは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス (以下、SNS) 上で、「エモい」と感じるモノやコトを共有し共感を得る。「エモい」の語源は、音楽ジャンルのイーモウ (Emo: 英語の ‘emotion (al)’ から派生) からとする説 (荒川, 2017)、そして古語の「えもいわれぬ」からとする説 (MINE 編集部, 2021) の2つがある。「エモい」には明確な意味はなく、個人の多様な感情 (例: 何とも言えない気持ち、悲しい気持ち、懐かしい気持ち、など) を表現する際に用いられると考えられている (DOMANI 小学館, 2022)。茂木 (2018) は、「エモい」の特性として、理解できる人には楽しさや優越感を生み、理解できない人にも不思議さや面白さが感じられる点を挙げている。

「エモい」の使用に関する記述的な試みとして、塩見 (2020) は、SNS (例: Instagram (以下、インスタグラム)、Twitter) において「エモい」をタグ付けしている投稿を調査し、「エモい」の対象となるモノやコトから、「エモい」に隠れている個人の感情を推測した。さらに、飯間 (2021) は「エモい」が使用者の好感を漠然と示すために使われている点において、古語「あはれ」との類似性を指摘し、「エモい」は

\* あんどう ちなつ 文学研究科英文学専攻博士前期課程 指導教員: 伊藤 彰浩

\*\* なかやま さとし 文学研究科英文学専攻博士前期課程 指導教員: 伊藤 彰浩

\*\*\* やまがみ はなえ 文学研究科英文学専攻博士前期課程 指導教員: 中西 弘

\*\*\*\* いう あきひろ 外国語学部教授

便利な言葉であり、今後、長期に渡って使用される可能性が高いと予測している。

これらの研究から、「エモい」の意味は不明確で、多様な感情を表現するために用いられており、「あはれ」との類似性が指摘されていると言える。

古語「あはれ」の語源は「ああ、我」という嘆きの言葉であり、この「あはれ」の思いは、心が動くなら、それはすべて「あはれ」である（若山，2013）。「あはれ」の対象は、親心、親を思う子の心、自然や動物など広範囲に及ぶ（内田，1996）。そして、「あはれ」は、平安文学の基本的な美的理念と位置付けられており、現代語訳において、「しみじみと趣がある様子」（北原，2003）と解釈される。

「あはれ」は、後に「もののあはれ」として日本の美の根幹のひとつとなる。しかし、その一方で、「あはれ」の概念や意味を明確に言語化する学術的な試みは十分に行われてこなかった。その原因のひとつとして、メリ（2000）は、芸術理論や文学理論が「あはれ」の明確な定義を避けてきた事実を挙げている。曖昧さを美とする日本特有の文化の影響もあってか、「あはれ」の意味概念を明確に定義する試みは成立しにくかったのである。しかし、過去の研究を調べてみると「あはれ」の概念や意味を分類する試みは存在する。清水（1968）は、池田勉氏が『国文学詩論』の第1輯（1933年刊行）に発表した論文「『もののあはれ』の深化過程における一契機」と、同雑誌の第2輯（1934年刊行）に発表した論文「源氏物語における文芸意識の構造」において試みられた「もののあはれ」の構造の契機の分類を紹介している。ここでの契機とは「もののあはれ」を規定する感情の本質的要素を意味する。池田氏は、この本質的要素として、「愛情」、「優美」、「悲哀」の3つを挙げている。清水（1968）は、「人間や自然に対する『愛情』が、この『優美』により美化されますと、それらの対象は『情緒あるもの』と感じられます」（p. 8）と説明している。さらに「愛情」の主体が価値ある対象の喪失を予想・体験もしくは回想することは、「『愛情』の思慕性を刺激し、『愛情』そのものを原初的純粋さに立ちかえらせ」（p. 9）、それが悲哀の感情を生み出すとしている。これらの説明を踏まえると、「あはれ」を規定する第一義的感情は「愛情」であり、それを踏まえて生み出される「優美」と「悲哀」は第二義的感情であると考えられる。一方、多数の和歌を対象に「もののあはれ」について研究を行ったメリ（2000）は、平安時代以降の「あはれ」の特徴として、平安朝への憧憬、すなわちノスタルジア（以下、「郷愁」）が強まっていると指摘している。したがって「あはれ」は、その基調として「愛情」があり、それを踏まえて「郷愁」、「悲哀」、「優美」の感情を表現するために用いられてきたと考えることができる。

これまでの議論を踏まえて、以下の表1に「あはれ」を規定する感情の本質的要素をまとめる。

表1：「あはれ」を規定する感情の本質的要素（清水（1968，pp.8-9）とメリ（2000）を参考に作成）

愛情	「あはれ」の基調であり、価値ある対象に引き付けられる過程に生じる。不幸に沈む人への同情や、恋人に対する思慕などが対象となる。
郷愁	遠い昔の出来事、人物などを懐古する際の感情や昔に対する憧れや恋しさを表すノスタルジックな感情。また、自身の故郷を懐かしく想う気持ち。
悲哀	喪失の予感や体験、回想に伴う感情。価値ある対象の喪失の予想や体験を通じて、「愛情」そのものが原初的純粋さに立ち返るもの。
優美	自然の状態や人間の態度に現れる美。人間や自然に対する「愛情」が優美により美化され、その対象は情趣あるものとして認識されるもの。

### 仮説および研究課題の設定

これまで「エモい」と「あはれ」に関する先行研究を概観した。飯間（2021）が指摘する「エモい」と「あはれ」の類似性を紹介し、次に先行研究を基に、「あはれ」を規定する感情の本質的要素についてまとめた。先行研究では、塩見（2020）のように「エモい」の対象となるモノやコトを記述し、「エモい」に隠れている個人の感情を推測する試みが行われている。しかし、「エモい」を用いる個人に焦点を当て、そ

の個人が、どのような感情を表現するために「エモい」を使用するかについて直接的に取り上げた研究は未だ行われていない。さらに、飯間（2021）の指摘通り「エモい」と「あはれ」の類似性が高いならば、「エモい」の使用者は、「あはれ」が示す感情の本質的要素を表現するために「エモい」を使用すると予測できる。そして、「あはれ」との類似性が確認できれば、「エモい」は現代版「あはれ」と言えるかもしれない。先述の通り「あはれ」は、その基調として「愛情」があり、それを踏まえて「郷愁」、「悲哀」、「優美」の感情を表現するために用いられてきた。そこで、本研究では、「エモい」を使用する個人は、「あはれ」が示す第二義的感情である「郷愁」、「悲哀」、「優美」に類似する感情を表現するために「エモい」を使用しているか調査を通して明らかにしたい。

以上の議論を踏まえ、「エモい」について以下の2つの仮説を設定する。

- (1) 「エモい」の使用者は、古語「あはれ」が示す感情の本質的要素である「郷愁」、「悲哀」、「優美」に類似する感情を表現するために「エモい」を使用する。
- (2) 「エモい」は現代版「あはれ」と判断できる。

上記の2つの仮説に基づき、以下の2つの研究課題を設定する。

- (1) 「エモい」の使用者は、古語「あはれ」が示す感情の本質的要素である「郷愁」、「悲哀」、「優美」に類似する感情を表現するために「エモい」を使用するか。
- (2) 「エモい」は現代版「あはれ」と判断できるか。

## 方法

### 個人別態度構造分析 (Personal Attitude Construct Analysis)

本調査では、「エモい」を用いる個人は、どのような感情を表現するために「エモい」を用いるかを調査するために、個人別態度構造分析 (Personal Attitude Construct Analysis、以下 PAC 分析) を実施した。PAC 分析を開発した内藤 (1997) によれば、PAC 分析とは、調査参加者の態度やイメージの構造を調査参加者自身に解釈させて「間主観的」(inter-subjective) に了解する技法である。PAC 分析の実施は、(1) 当該テーマに対する自由連想、(2) 連想項目間の類似度評定、(3) 類似度距離行列によるクラスター分析、(4) 調査参加者自身によるクラスター構造のイメージや解釈の報告、(5) 調査者による総合的解釈の5段階によって構成される。この手法の特徴は、当該テーマに対する自由連想の後に、類似度得点を調査参加者自身が決定し、それをまとめ上げることにある。そうすると繰り返しがなく、平均値も分散もないデータではあるが、距離行列を利用したクラスター分析が可能となる。すなわち、個人の意識や態度、イメージは変容するのだが、繰り返すことが不可能な「その時」の個人の考えを構造的に記述できるのだ。

### 調査参加者

調査参加者の選定において特別な条件を設定することはなかった。しかし、PAC 分析において調査参加者は、自らの心の状態を言語化したり、得られたクラスター分析の結果について解釈したりするため、調査者との信頼関係が重要となる。そこで、本研究では調査者と普段から交流のある日本人大学生2名（以下、調査参加者 A と調査参加者 B）を調査の対象とした。

調査参加者2名には、事前に「『エモい』の使用頻度に関するアンケート」(参考資料 A) を実施した<sup>1</sup>。アンケートは、「1. あなたは『エモい』を頻繁に使うと思いますか。」と「2. あなたは『エモい』を頻繁に目にする、あるいは耳にするとと思いますか。」の2つの質問項目で構成されていた。そして、調査参加者2名は、自分の現状について考えた後、5段階の尺度（1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちら

らとも言えない 4. そうは思わない 5. 全くそう思わない) に基づいて判定した。アンケートの回答時間は1分程度であった。

調査参加者 A は、日本の私立大学の1年生である。アンケート結果によると、「エモい」を使用する頻度および目にする、または、耳にする頻度は、ともに「3. どちらとも言えない」であった。

調査参加者 B は、調査参加者 A とは異なる日本の私立大学に通う1年生である。アンケート結果によると、「エモい」を使用する頻度は「2. そう思う」、目にする、または耳にする頻度は「1. 非常にそう思う」であり、普段から「エモい」を使用し、目にする、または耳にする頻度が高いと判断できる。

### 調査手順

調査参加者に対する PAC 分析の手順を統制するため、調査者はあらかじめ「PAC 分析手順書」(参考資料 B) を作成し、その内容に沿って調査手順を遂行した。調査者は調査参加者に対して、縦 5 cm、横 7.5 cm の付箋紙 15 枚と筆記用具を渡し、自由連想の刺激として次の文章を読み上げた。「あなたは『エモい』という言葉を知っていて、どのようなモノやコトを思い浮かべますか。思い浮かんだモノやコトを番号順に付箋紙に記入してください。」<sup>2</sup>続いて、記入された項目を参加者にとって重要度が高いと思われる順序に並び替えるように指示した。その後、項目間の類似度距離行列を作成するため、指示と評定尺度が印刷された用紙を参加者に渡し、項目の全ての対をランダムに選びながら、それぞれの類似度を 5 段階尺度 (1…全く似ていない 2…似ていない 3…どちらともいえない 4…似ている 5…とても似ている) に基づいて評価させた。

上記の評定尺度のうち、同じ項目の組み合わせは 0 とし、「全く似ていない」は 1、「似ていない」は 2、「どちらともいえない」は 3、「似ている」は 4、「とても似ている」は 5、というように 0 から 5 までの得点を与えることで類似度距離行列を作成した。この行列に基づいて、ウォード法によるクラスター分析を行った。統計分析には、High quality Analysis for Business and Academic Users-7 (以下、HALBAU-7) (高木, 2007) を使用した。以下に具体的な分析手順を示す。

- (1) 「HALBAU-7」のショートカットをクリックする。
- (2) 「方法の指定」をクリックし、「キーボード入力による分析」を選択する。
- (3) 「クラスター分析」にカーソルを移動する。「設定」をクリックすると、「クラスター分析」の画面が表示される。〈行列の種類〉は「距離」に黒点を移動させ、〈行列の大きさ〉は反応項目数に変更する。
- (4) 距離行列にデータを手作業で入力する。右上左上は対象になっており、どちらかに数値を入力すれば自動的に反対側にも入力される。
- (5) 入力後、〈分析の開始〉をクリックする。クラスター分析の画面に切り替わった後、「ウォード法」を選択する。
- (6) 「分析実行」をクリックすると演算が完了し、併合過程とデンドログラムが表示される。

## 結果

## 調査参加者 A

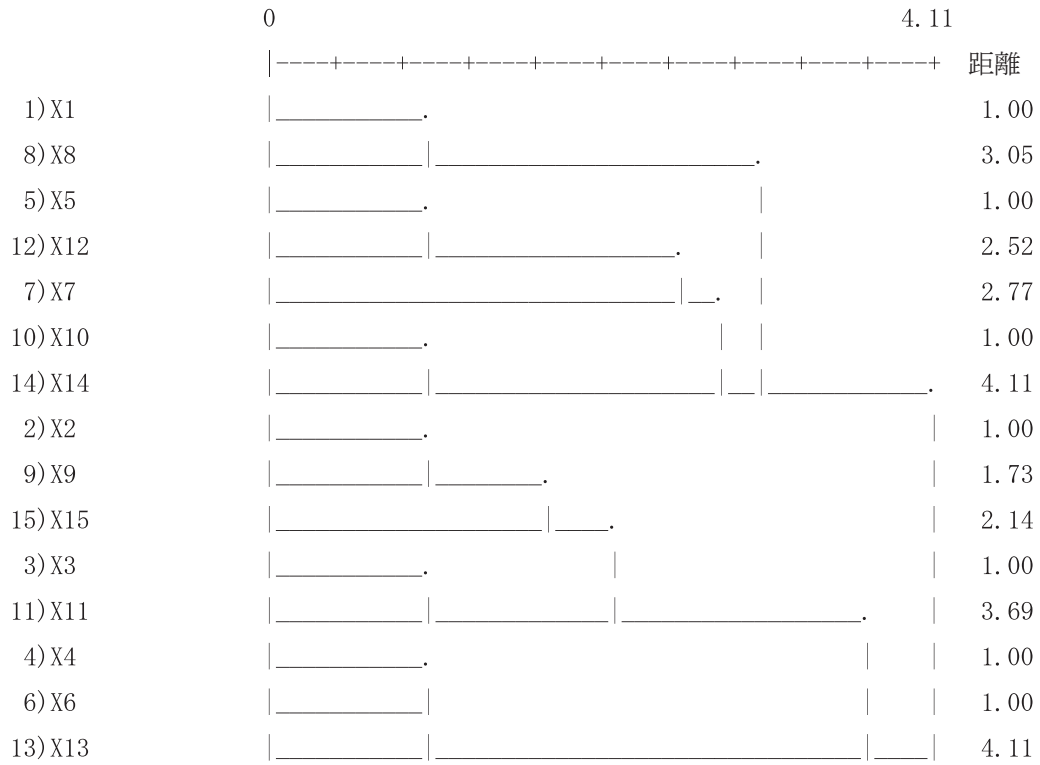


図1：「エモい」のテンドログラム

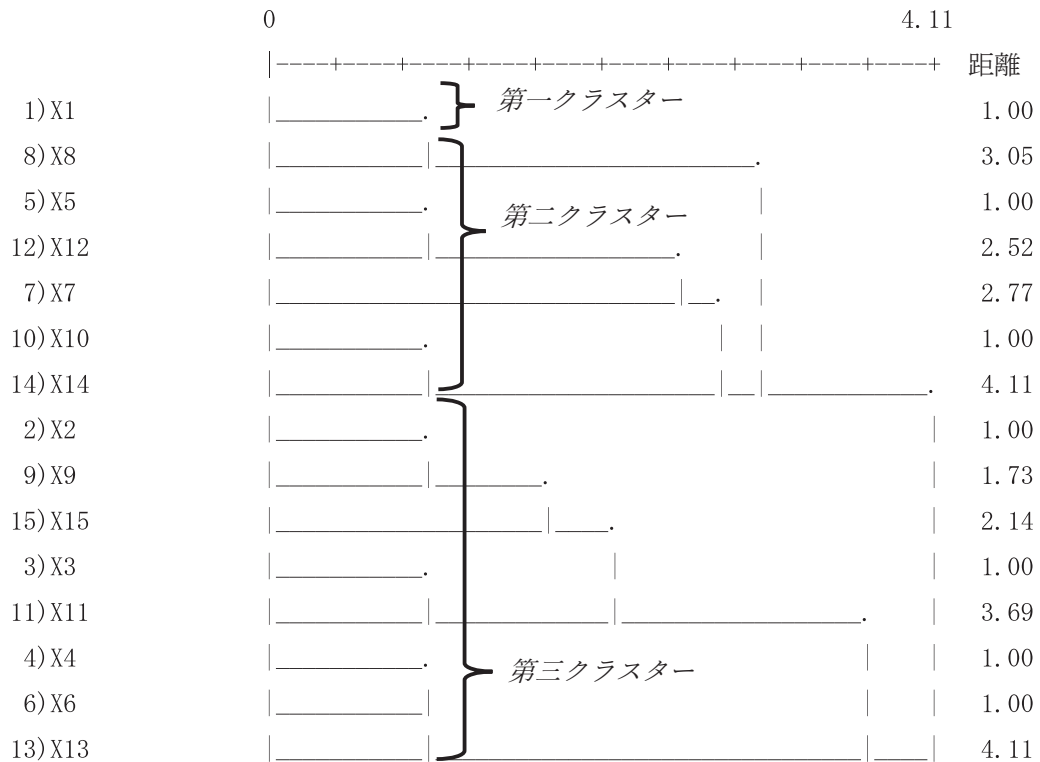


図2：調査者によるクラスター分割の原案

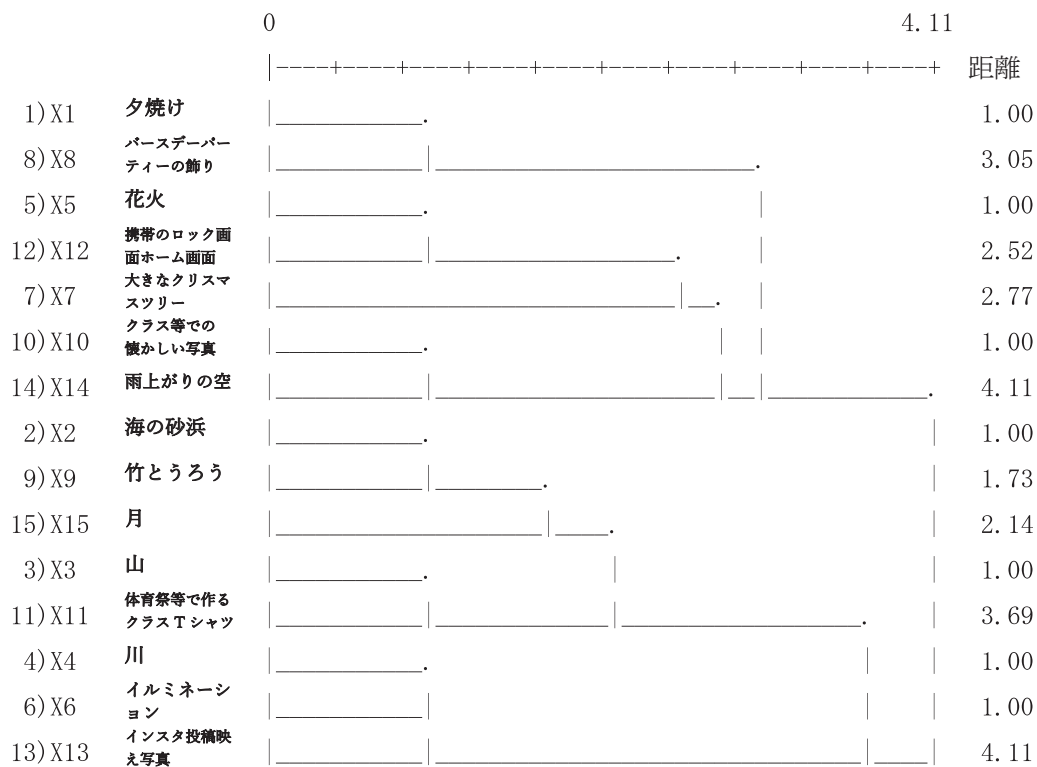


図3：連想項目と調査参加者による単独イメージが付記されたテンドログラム

## 調査参加者 B

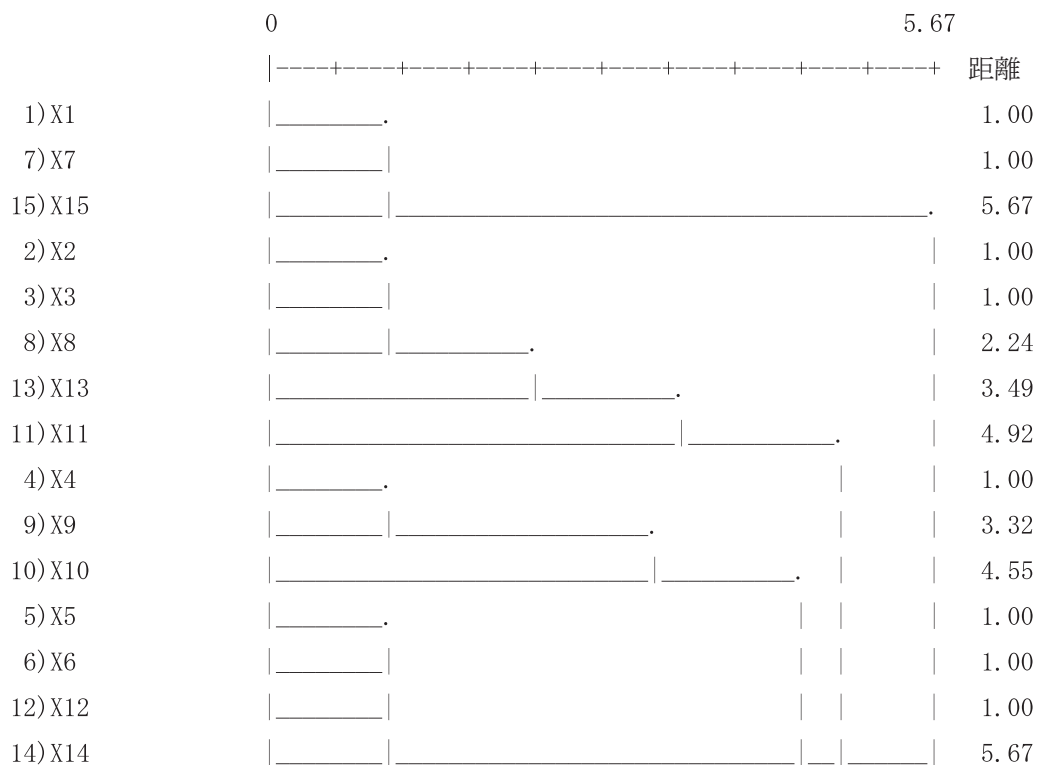


図4：「エモい」のテンドログラム

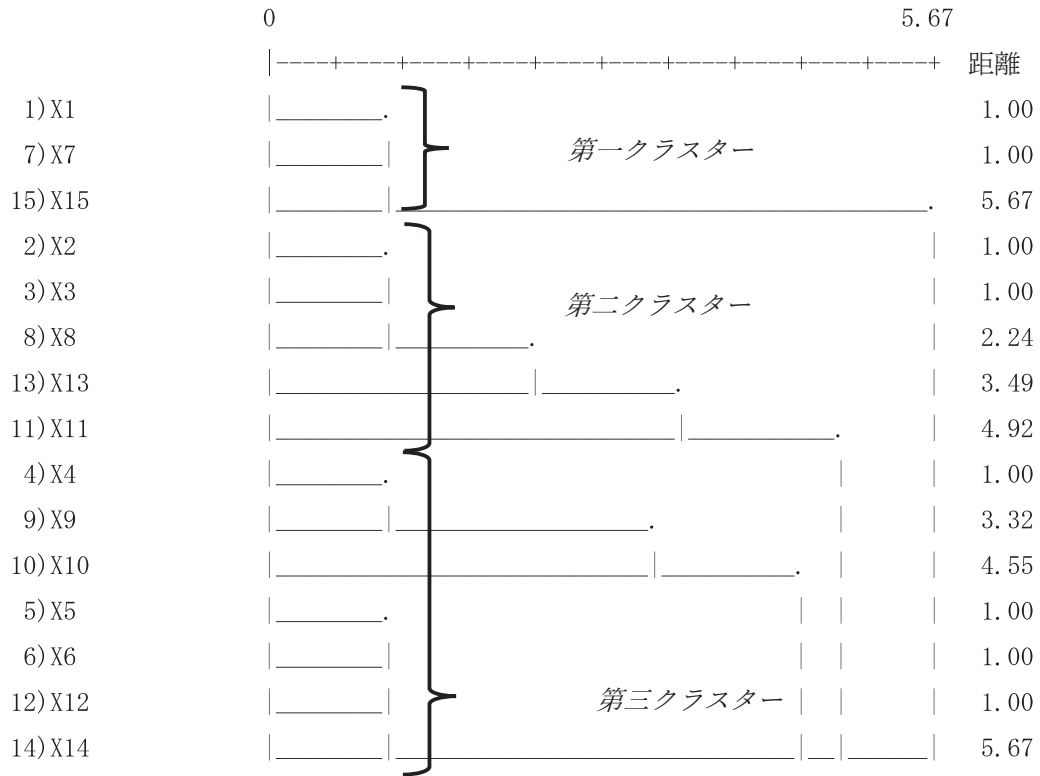


図5：調査者によるクラスター分割の原案

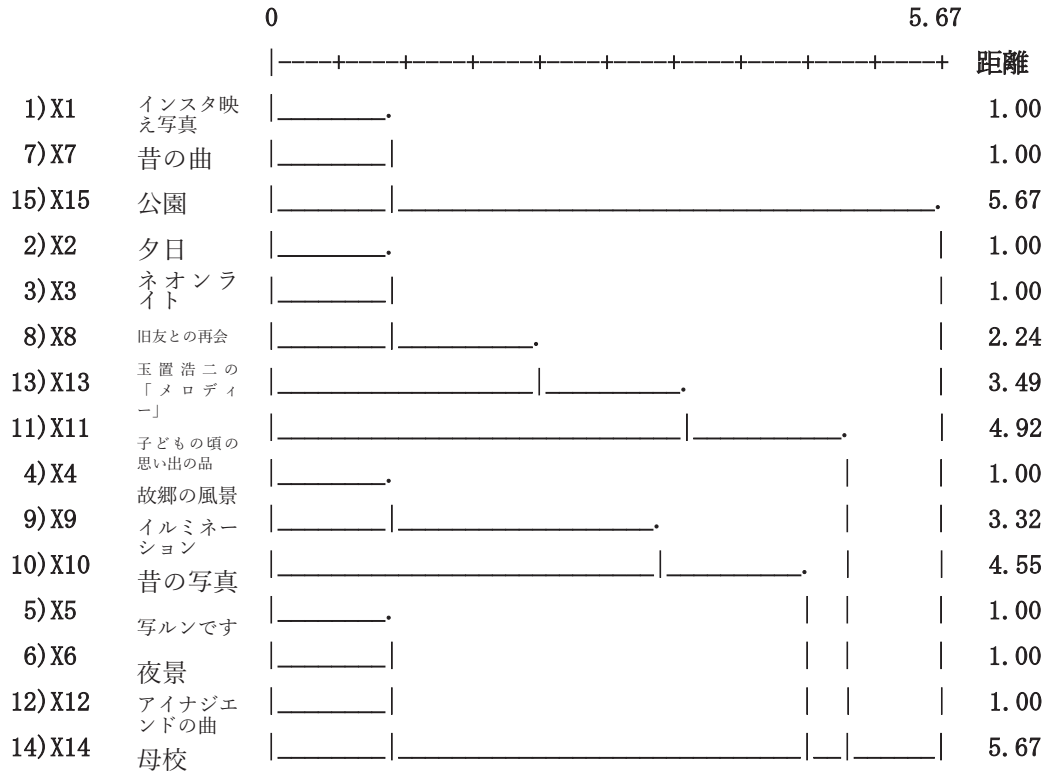


図6：連想項目と調査参加者による単独イメージが付記されたテンドログラム

図1（調査参加者A）と図4（調査参加者B）は、クラスター分析（ワード法）の結果から析出されたデンドログラムである。デンドログラムの余白部分に連想項目の内容を記入した。これをコピーして一部は調査参加者に提示し、もう一部は調査者が見ながら、以下に示す手順で調査参加者の解釈や新たに生じたイメージや解釈について質問した。

- (1) 調査者が「まとまりをもつクラスターとして解釈できそうな群ごと」（図2及び図5参照）に各項目を上から順に読み上げ、項目全体に共通するイメージやそれぞれの項目が併合された理由として考えられるもの、群全体が意味する内容の解釈について質問した。
- (2) 全ての群について検討が終了した後、第1群と第2群、第1群と第3群、第2群と第3群というように、クラスター間を比較させてイメージや解釈について報告してもらった。
- (3) 全体についてのイメージについて質問し、複数の項目が併合された理由について補足的な質問をした（図3及び図6参照）。

#### 調査参加者Aによるクラスターの解釈と考察

以下の（質問：）は、調査者による質問部分を表し、斜体は調査参加者の回答部分を示している。

#### 調査参加者Aによるクラスターごとのイメージと解釈

##### 〈第1クラスターは「夕焼け」の1項目〉

（質問：第1クラスターを見てどのようなイメージを思い浮かべますか。）

*「きれいだなあ」という感情。*

（質問：このような結果が出たのはどうしてだと思いますか。）

*自分の中で、風景の写真を撮ることが好きで、日の入りの写真を撮ることが多くて印象が強かったからかもしれない。場所は地元の夕焼けを思い浮かべている。*

##### 〈第2クラスターは「バースデーパーティの飾り」、「花火」、「ケータイのロックホーム画面」、「大きなクリスマスツリー」、「クラス等での懐かしい写真」までの5項目〉

（質問：これら5項目を見てどのようなイメージを持ちますか。）

*光るものとか、かわいい、おしゃれみたいな感じ。（友達の）バースデーパーティーの飾りは女子とか特にサプライズでやっていて、かわいいとか、光ってるとか。花火も光っているし、友達のロック画面がパーティーの飾りだったし、ほかのも飾り系。懐かしい写真はサプライズしたときに撮った友達との写真を思い浮かべた。映えが印象強い感じ。自分が祝ってあげたからこそ印象に残っていたかもしれない。*

##### 〈第3クラスターは「雨上がりの空」の中に、「海の砂浜」、「竹とうろう」、「月」、「山」、「体育祭等で作る



## クラスTシャツ、「川」、「イルミネーション」、「インスタ等に投稿されている映え写真」の9項目)

(質問：これら9項目を見て、どのようなイメージを持ちますか。)

晴れ晴れしている。美しい。写真映えしそうな感じ。ここの方がより写真映えする気がする。

(質問：最後に、全体について感じることはありますか。)

写真映えしそうなもののような気がする。写真がキーワードで、写真に残すのが好きだから。でもこれら(第3クラスターの項目)の写真は撮らないかも。身近なものとか、慣れすぎているものは「エモい」とは感じない。日常的で身近なものには「エモい」を感じない。「エモい」とあげたものは、夕焼けは毎日じゃないし見る頻度は多い。バースデーパーティーも誕生日がない限り普段はないし。「非日常」なものが多い。

### 調査参加者 A によるクラスター間の比較

(質問：第1クラスターと第2クラスターを比較してどのように感じますか。)

第1クラスターの夕焼けは趣深い。感動の一步手前。感傷的な感じ、精神的にきてたら泣いてしまいそう。綺麗とか美しいとは少し違う。綺麗ではあるけど、風景的な綺麗さ。

第2クラスターは、かわいい系、「綺麗だな、美しいな」って感じ。行事系で、楽しかったっていう思い出がある。良かった思い出で、自分のことに関する。

違いは、人によって違うかどうか。夕焼けは見る人によって変わるけど、第2クラスターは誰でも共感してくれる気がする。第1クラスターは自分にとって一番好きなこと。自分の家のテラスから夕陽が見えていて、それを見るのが好き。下校中でも夕焼け写真を撮っている。頻度が多いから重要度が一番高かったのかもしれない。

(質問：第1クラスターと第3クラスターを比較してどのように感じますか。)

第1クラスターの夕焼けは特別感があって、綺麗さや美しさが違う。感傷的になる。人に伝えたいくなる綺麗さ。共感したくなる。どこにでもあるけど、赤いのが印象強い。第3クラスターの雨上がりは特別感がない感じする。綺麗ではあるが、写真撮るわけではない。「わーきれい」ぐらいの感じ。人に伝えたいとは思わない綺麗さ。人に教えなくてもいいけど、綺麗ではある。個人的に写真に残す対象にはならない。どちらも綺麗だけど、感動している度合いが違う。

(質問：第2クラスターと第3クラスターを比較してどのように感じますか。)

第2クラスターはかわいいとか、おしゃれなもの。花火は輝いている光の感じ。クラスマッチの時の写真とかバースデーの写真とか、こっちは自分の経験があるもの。第3クラスターは第2クラスターのキラキラとは違って、心が落ち着く感じ。特に、竹とうろうは落ち着く光。クラスTシャツは作ったことないけど、なんとなくイメージで浮かんできた、自分の経験ではない。清々しい感じ。山や川は行くけど、写真は撮らない。

## 調査参加者 A の発言に関する考察

写真を撮るのが好き。みんなに共感されて「写真映え」しそうなものは「エモい」かも。

調査参加者 A は、「エモい」の判断基準で「写真を撮るか否か」、「写真映えするかどうか」、「共感されるか」をあげていた。特に第2クラスターのほとんどが写真映えして共感されそうなものと解釈した。調査参加者 A にとって「写真」は重要な要素であるようだ。

以下は調査参加者 A の発言を部分的に取り上げたものである。

日常的で身近なものには「エモい」を感じない。「エモい」は特別感があって感傷的な感じがする。非現実的なもの。

これらの発言から、調査参加者 A は、日常では感じられない特別感や非現実的なものに対して「エモい」と感じていることが示唆される。

## 調査参加者 B によるクラスターの解釈と考察

以下の（質問：）は、調査者による質問部分を表し、斜体は調査参加者の回答部分を示している。

### 調査参加者 B によるクラスターのごとのイメージと解釈

以下に、調査参加者 B によるクラスターごとの解釈を提示する。

#### <第1クラスターは、「インスタ映え写真」、「昔の曲」、「公園」の3項目>

（質問：第1クラスターを見てどのようなイメージを思い浮かべますか。）

これ（第1クラスター）結構不特定よね。「インスタ映え写真」とか「昔の曲」とか。聞いただけじゃよくわからない。「どの公園、どんな公園」みたいな。3個とも聞いただけじゃよくわからない。漠然と「『エモい』ってなんだろう」って考えたときに出てくる3つ。

（質問：要素で言うとどんなまとまりですか。）

非日常。公園は思い出なんだけどね。「エモい」の3要素みたいな。

#### <第2クラスターは、「夕陽」、「ネオンライト」、「旧友との再会」、「玉置浩二の『メロディー』<sup>3</sup>、「子どもの頃の思い出の品」の5項目>

（質問：第2クラスターを見てどんなイメージを思い浮かべますか。）

全部ちょっと切ない。なんか哀愁漂う。懐かしさとか。

<第3クラスターは「故郷の風景」「イルミネーション」、「昔の写真」、「写ルンです」<sup>4</sup>、「夜景」、「アイナ・ジ・エンドの歌声」<sup>5</sup>、「母校」の7項目>

(質問：第3クラスターを見てどのようなイメージを思い浮かべますか。)

1つじゃないよね。景色と思い出と、12番が余計なんだよなあ。景色、思い出、その他かな。

(質問：全体的にクラスターに入っている要素を教えてください。)

思い出。景色。非日常感。強い衝撃。心が動かされるみたいなの。切ない。

### 調査参加者 B によるクラスター間の比較

(質問：「インスタ映えの写真」とはどんな写真を指しますか。)

インスタ映えの写真って、大時計とかネオンライトとかイルミネーションもあるし、風景とか夜景とか夕陽とかが重なってくるのかなって。普段見ている景色とは違う珍しい景色かな。特別な光景だから「エモい」ってなるのかな。

(質問：「昔の曲」は例えばどのような曲を思い浮かべますか。)

小学生のときに歌っていた曲とか。生まれていない時の曲も「エモい」ってなる。生まれてない時の曲と小学生の時の曲の「エモい」は違う「エモい」なのかなって思う。小学生の時の曲は当時を懐かしんで「エモい」とかだけど、昔の曲で「エモい」と言うときは、よく中森明菜とか聞いてるんだけど。アイナ・ジ・エンドの歌声に近い気がする。

(質問：どんな時に聞きたくなりますか。)

落ち込んでいる時に聞きたくなる。歌唱力で直接心に響くような衝撃。聞いた時に言葉にできない衝撃。

(質問：「公園」からは、どんなイメージが思い浮かびますか。)

公園って最近減っていった。でもまだ公園が残っていることに「エモい」って感じるのかもしれないし、公園を見て昔を思い出すエモさ。心揺さぶられてエモーショナルな感じ。公園を見てたら当時公園で遊んでいた風景とか思い出す。懐かしいとかいろんな感情が出てくる。

(質問：「インスタ映え写真」、「昔の曲」、「公園」それぞれの違いを教えてください。)

「インスタ映えの写真」は昔の記憶じゃなくてその風景を始めてみたときに「エモい」って感じる。昔の公園とかは懐かしいとか言ってたけど、インスタ映えの写真っていうのは懐かしいとかじゃないのかなって。ライトの光とか風景とか。やっぱりインスタ映えの写真っていうかその風景の写真を撮ったらインスタ映えになるような風景が「エモい」んだと思う。普段のありきたりな風景じゃなくて、現実から非現実的

な風景を目の当たりにした時みたいなの。だからそこで心が揺さぶられるのかなって思う。普段見ていないような景色を見て解放された気持ち。解放感とか。

(質問：「昔の曲」「公園」はどう違いますか。)

子どもの頃の曲は昔の懐かしさだから「公園」に近い。昭和の曲って、今の曲調とは違ったりする。それも今と違う音楽だからこそ違った感情が生まれて心が揺さぶられて「エモい」ってなるのかな。普段聞いていないような音楽を聴いて現実化か非現実化みたいなの。やっぱり友達が聞いたら明らかに昭和、昔っぽって思うような曲が自分が「エモい」って思う曲なんだろうね。平凡な日々にはないようなものを見た時とか感じた時が「エモい」って思う時なのかな。

(質問：第2クラスターを見て、それぞれに共通することがありますか。)

「夕陽」と「ネオンライト」は風景とかきれいな景色で重なって、「旧友との再会」「玉置浩二の『メロディー』」「子どもの頃の思い出の品」は昔を思い出す。普通に過ごして見える景色じゃないのは全部重なってるかな。夕陽って仕事の帰りとか学校終わりに見る。一日頑張ってるそこから解放されたみたいなの感じで偶然きれいな夕陽が目に入ってきて「エモい」ってなるのかな。

(質問：「仕事」「学校」はどのようなものとしてとらえていますか。)

疲れててきれいな景色が目に入るから、それで「エモい」ってなるというよりは一層気持ちが強くなるような感じかな。普段普通の空見てきて、きれいな空見て、普段感じない気持ちになる。そこで気持ちの変化があって、だから「エモい」ってなるのかな。一番わかりやすい「エモい」って「ネオンライト」だと思う。「ネオンライト」ってそうあるものじゃない。珍しくてきれいなものだからかな。きれいな夕陽を見たら嫌なこと忘れられそう。そこで感情の変化があるのかな。要素がいっぱいあるのでは。ネオンライトも光だし、イルミネーションも光。夕陽も光に近い。きれいな光を「エモい」って思うから、「ネオンライト」と「夕陽」重なるかも。

(質問：(スマートフォンのライトを見せて) これも光だけどこれは「エモい」と思いますか。)

これは「エモく」ない。この光はなじみがありすぎる。これ見ても心の変化はない。普段見てるし感動もしない。蛍の光とか普段見ないけど、偶然見た時とか心の変化がある。

「玉置浩二の『メロディー』(の海外の人のリアクション動画)で自分が「エモいなー」って思うところで海外の人がemotionalって言ってた。海外の人がemotionalって使う時日本人が「エモい」って言うのかなって思った。聞いた時に口開いて聞いちゃうみたいなの。もう言葉が出ない。すごすぎて。みたいな気持ちになる。心が揺さぶられてる。分かりやすい「エモい」があって、そこから派生していったしょうもないことにも「エモい」って使うようになったんだろうね。便利フレーズみたいに。まだありそう。思い出せたのが15個だったけど、この15個に出会う機会は結構珍しい。毎日出会うものではない。でも2、3日に1回は使っている気がする。

(質問：「夕陽」と「ネオンライト」には違いはありますか。)

「夕陽」は風景がきれいとか、オレンジがきれいになってるプラスの気持ちもあると思う。俺頑張った、えらいみたいな。夕陽に照らされて社会人みたいな人が。けど、「ネオンライト」は普通に風景がきれいとか、光がきれいとかだと思う。特別な気持ちはない。紫とか青のきれいな光、普段見ない色だからかな。夜の街並みにネオンライトがあったら、目に入ってくるのは他では使われていない目立つ色が使われているから、普段見ないような光景で「エモい」って感じるのかもしれない。ネオンライトとかイルミネーションは見てください、見たいな感じ。「夕陽」は偶然目に入ってきた感じ。予期せぬとか。

(質問:「夕陽」と「ネオンライト」を見た時に感じる感情の違いはありますか。)

ネオンライトとイルミネーションは見た時に子ども心を思い出すとか。「わあ、きれい！」みたいな。けど夕陽は河川敷で頑張ってきたからみたいなの。あ、見る時間帯かな。学校帰りとかに夕陽が入ってきたら感情がプラスになる、っていう違いはある。

(質問:「旧友との再会」「玉置浩二の『メロディー』」「子どもの頃の思い出の品」に違いはありますか。)

「旧友との再会」は昔遊んで、今会えたことがすごいとか、感動の「エモい」。しゃべっていく中で昔を思い出して「そんなこともあった、エモ」ってなるのは別なんじゃないかな。昔の友達に再会できたことが感動、の「エモい」は「玉置浩二(の『メロディー』)」と「子どもの頃の思い出の品」とは別ですね。

(質問:「玉置浩二の『メロディー』」と「子どもの頃の思い出の品」の違いはありますか。)

「玉置浩二の『メロディー』」はほぼ毎日聞いてるけどずっと魅力がある。海外の人が聞いても感動するのを見たからこれは「エモいな」って。自分も「エモい」って感じるけど、他の人も「エモい」って感じる。玉置浩二は歌唱力もあるし、普通とは違う。それが「エモい」ってところになるのかな。どんな曲って説明が難しいけど、「エモい」ってこれだけで完結する。みんなが「エモい」って使う理由なのでは、複雑な感情になってそれを説明することができない時に「エモい」は間違いないから「エモい」って言うのかな。

(質問:「子どもの頃の思い出の品」は例えばどんなものがありますか。)

ランドセルかな。押し入れからランドセルが出てきて「エモ」ってなる。ぬいぐるみが出てきたときとか、懐かしいなって。子どもの頃に使っていたものが今になって出てきた、「エモ」みたいな。それってなんか違う気がするさっき言ったのと。子どもの頃の思い出の品から昔の思い出がよみがえってきたら「エモい」ってなるかな。

(質問:「子どもの頃の思い出の品」が下の7個を含んでいますが、どう思いますか。「故郷の風景」はどんな風景ですか。)

ほとんど「公園」を見た時の感情と一緒に。地元じゃない公園を見た時も「公園減っているのにあるんだ」って、あまり見る機会ないから最近だと。っていうのもあるんだけど、地元の公園を見た時に昔遊んでた時の光景がよみがえってくるっていうところの気持ちと一緒に。懐かしさ。「イルミネーション」は、「インスタ映え写真」だったり、ネオンライト見た時に感じる気持ちに近い。「昔の写真」は、見た時に昔のことを思い出してエモい(年代上の写真ではない)。「写ルンです」は、インスタ映えの写真に近いんだと思う。

レトロ風に撮れる。高画質のじゃなくて違うような感じ。普通じゃない写真が撮れるから。「写ルンです」はオレンジがかったレトロっぽい、からきれい。光に近いのかな。やっぱり普通とは違う何かを見た時の心の変化だよ。それは全部だ。「アイナ・ジ・エンドの歌声」は聞いた時に言葉が出なくなるくらい心が揺さぶられる感じ。「母校」は懐かしく思う感じ。一つじゃないから「母校」を見て「エモい」って感じる要素が。懐かしいって言ったけど、別に何かあるような感じがして。自分が通ってきた学校が今もそのまま残ってる。変わり続ける時代にまだ残ってるものがあるってあるので「エモい」っていう要素もあるのかな。自分の成長を感じるのでは。母校を見た時に「あの頃は若かったな」みたいな。「時の流れやな、エモいな」みたいな。「夜景」は、光、きれい、心の変化があって、、普段生活している街並みが夜になると、めっちゃきれいになる。それが普段とは違って、それが感動っていうのかな。いい言葉が見つからない。

(質問:「夜景」は「見てください」ではないという点では「夕陽」に似ていると思いますが、「夜」、「暗い」、「光」という意味では「イルミネーション」、「ネオンライト」と似ているととらえられるのですが、どうですか。)

「夜景」って言葉を出した時には展望台みたいな、自分で行って見るみたいな。高いところから見る夜景を想像していたから「イルミネーション」とかに近いのかな。故意的に見るきれいなもの。

友達が「エモい」って言うような時に「エモい」って使う。友達が「エモい」っていうけん、それに影響を受けて言うようになった。こういう時はみんなが「エモい」って言うよね、みたいなものができてるのでは。こういう景色は「エモい」って言うよね、みたいな。

### 調査参加者 B の発言に関する考察

インスタ映えの写真っていうかその風景の写真を撮ったらインスタ映えになるような風景が「エモい」んだと思う。

第1クラスターの最初に「インスタ映え写真」が挙げられているが、調査参加者 B はこれをその他の項目とは区別している。調査参加者 B にとっての「インスタ映え写真」の「エモさ」は、写真それ自体にあるのではなく、写真に写っている対象物(例:夕陽、公園)にある。すなわち、他の項目を想起する際に、インスタグラムに投稿されているような写真を思い浮かべており、調査参加者 A と同じく、写真を通して対象物を「エモい」ととらえていると考えられる。

以下は調査参加者 B の発言を部分的に取り上げたものである。

珍しい景色かな

特別な光景だから

普段のありきたりな風景じゃなくて、現実から非現実的な風景を目の当たりにした時みたいな

普段見えていない景色を見て

普段聞いていない音楽を

平凡な日々にはないようなもの

普通に過ごしてて見える景色じゃない

普段感じない気持ちになる

珍しい

普段見ない色

普段見ない普通とは違う

あまりみることがない

普通じゃない写真

普通とは違う何か

普段とは違う

調査参加者 B は、「非現実」、「特別」、「普通とは違う」という発言を繰り返している。この点から、日常から乖離した非現実的なものや特別な出来事に対して「エモい」と感じていると解釈できる。

## 考察

調査参加者 A と調査参加者 B それぞれに対するクラスター構造のイメージや解釈に関する報告に基づいて、設定された 2 つの研究課題について考察を加える。

調査参加者 A の発言に基づいて各クラスターの内容をまとめる。

<第 1 クラスター> 地元の「夕焼け」が心から好きだという調査参加者 A は、「夕焼け」を見ると地元の風景を思い浮かべる。同時に、それは過去の経験を思い返すきっかけとなり、寂寥感に似た感情を示していると解釈できる。調査参加者 A は、「夕焼け」を非日常的なモノとしてとらえており、夕焼けにより自身の感情が揺さぶられ、感動していると解釈できる。

<第 2 クラスター> 自身の体験や経験に関する項目が存在しており、「悲哀」の感情が含まれていると解釈できる。「バースデーパーティの飾り」、「花火」、「ケータイのロックホーム画面」、「大きなクリスマスツリー」、「クラス等での懐かしい写真」は、調査参加者 A の楽しかった思い出であり、過ぎ去った時間を懐かしみ、回想していると考えられる。

<第 3 クラスター> 調査参加者 A は「身近なもので日常的であり、感情が揺さぶられにくい物事」と表現している。「雨上がりの空」は、雨が降った後の空を写真に残したことを思い浮かべており、「竹とうろう」では、地元のお祭りを思い出すなど、過去の経験を回想している。すなわち、過去の出来事を追懐する感情や地元を思い浮かべる感情である。次に、「砂浜」、「月」、「山」、「川」は美しい自然の壮大さや、それらへの感動が表れている。「体育祭等で作るクラス T シャツ」、「イルミネーション」、「インスタ等に投稿されている映え写真」については、調査参加者 A が体験したわけではないが、「エモい」から連想したと述べていることから、可愛らしさや写真映えするモノだと考えていると解釈できる。総括の質問で、「日常的で身近なものにはエモいと感じない」と調査参加者 A は答えている。したがって、日常との距離が「エモい」の判断基準になると考えられる。

以上から、第 1 クラスターには、「故郷を懐かしむ感情」、「過ぎ去った過去への寂寥感」、「『夕焼け』の美しさへの感動」、と複数の感情が表れた。第 2 クラスターでは、「過去の楽しい経験の懐古」、そして、第 3 クラスターは、「自然の壮大さや美への感情」が表れた、と判断できる。

調査参加者 B はインスタグラムに投稿されている写真自体を「エモい」と感じているのではなく、その他の項目を想起するために、インスタグラムに投稿されているような写真を思い浮かべている。つまり、最初に「エモい」のイメージとして挙げられた「インスタ映え写真」は、その後の項目を全て包含し、そ

れ自体に「エモい」の要素はないようだ。

<第1クラスター>「懐かしさ」や「寂寥感」という要素が「エモい」に混在している。「昔の曲」について、調査参加者Bは、自身が小学校の頃に歌っていた曲を思い浮かべ、当時を懐かしむ気持ちを抱いている。しかし、同時に、自身が生まれる前の時代に流行した曲も想起しており、この場合の「昔」とは、「年代的に昔」のことを指している。参加者はそれぞれの「昔」に感じる「エモい」は別物であると述べ、後者の「エモい」は調査参加者Bが生まれる前の時代の曲であることから、「懐かしい」という感情は生まれていない。参加者は、年代的に昔の曲に関して、「今の時代にはない曲調を持っている」「聞くと心が揺さぶられる」と話しており、昔の曲が持っている良さが現代では失われていることに対する寂寥感があると判断できる。クラスターに現れた「公園」については、都市化が進む中で失われつつある公園に対して「エモい」と感じ、自身が慣れ親しんだものが失われていくことに対する懸念が感じられる。さらに、調査参加者Bは公園で遊んでいた風景を思い出して懐かしさも感じている。

<第2クラスター>「懐かしさ」と「寂寥感」の要素が観察されるが、第3の要素として、美しいものを見たときの感情の動きがある。「夕陽」と「ネオンライト」に対して感じる「エモい」について、調査参加者Bは、「美しい風景や普段は見られない光景を見たときに感じる」と述べており、上述の懐かしさや寂寥感に関する「エモい」とは異なるようだ。次に、「旧友との再会」、「玉置浩二の『メロディー』」、「子どもの頃の思い出の品」は、失われた過去に対する寂寥感に分類することができる。「旧友との再会」に関して、参加者は久しぶりに会った友人と思い出話をしながら懐かしい気持ちを抱く際の「エモい」と、長い間会っていなかった友人と再会できたことに対する「エモい」の両方があると述べている。後者の「エモい」は、成長するにつれて失われていく人間関係に寂寥感を持ちながらも、昔の友人と思い出話をし、変わらない関係もあることに対して「エモい」と感じている。さらに、「子どもの頃の思い出の品」も、異なる2つの性質を持っている。子どもの頃に遊んでいたぬいぐるみや、小学生の時に使っていたランドセルを見つけたときに当時を思い出して懐かしく思う気持ちと、長い間、目にする事のなかった思い出の品を見ながら、「昔は良かった」「あの頃は楽しかった」と、過去に対する寂寥感を抱いていることがわかる。そして、「玉置浩二の『メロディー』」は、第1クラスターの「昔の曲」のひとつの例であり、調査参加者Bは、今は失われた昔の曲の良さに対して寂寥感を持っていると考えられる。

<第3クラスター>第1および第2クラスターと同様に、様々な要素が混在しているが、3つに分類した。「故郷の風景」について、調査参加者Bは、第1クラスターでも挙げられた「公園」を思い浮かべ、昔遊んでいた時の光景が蘇ってくると述べた。懐かしく思う感情がわかる一方で、今は失われつつある地元の美しい光景に対する寂寥感がみられる。「イルミネーション」は、第2クラスターの「ネオンライト」を見たときに感じる気持ちに近いとしていることから、美しいものを見たときの「エモい」と解釈できる。「昔の写真」は、昔の写真を見て過去を思い出すときに使う「エモい」である。『「写ルンです」の写真』とは、1980年代から販売されていた「レンズ付きフィルム」(商品名:「写るんです」)を指すが、色鮮やかな高画質ではなく、色あせた写真が撮れることから、便利になった今の時代には失われてしまったものを懐かしみ取り戻したい感情が読み取れる。「夜景」については、光やきれいなものであると述べており、美しいものを見て感情が揺さぶられたときの「エモい」に分類できる。「アイナ・ジ・エンドの歌声」は、歌手の歌声を指しており、「聞いたときに言葉が出なくなるくらい心を揺さぶられる」という点から、美しいものによって心が動かされたときの「エモい」ととらえることができる。これはその他の項目とは異なり、歌声を美しいと感じていることから、「エモい」を目だけでなく耳からも感じていると判断できる。「母校」については、懐かしいと思う気持ちと同時に、変わり続ける時代に今でも残っている事実に対して「エモい」と感じていることから、懐古する感情と、過去と現在と対比させることによって生じる寂寥感の2つが混在していると解釈できる。

以上から、第1クラスターには、「懐かしさ」、「寂寥感」、第2クラスターには、「懐かしさ」、「寂寥感と



ともに美しいもの」、そして、第3クラスターは、「懐かしさとともに過去を取り戻したい感情」、「美しく光を放つものへの感情」が表れたと判断できる。

研究課題(1):「エモい」の使用者は、古語「あはれ」が示す感情の本質的要素である「郷愁」、「悲哀」、「優美」に類似する感情を表現するために「エモい」を使用するか。

研究課題(2):「エモい」は現代版「あはれ」だと判断できるか。

本調査では、「エモい」は「郷愁」、「悲哀」、「優美」の意味を持つと仮定し、調査対象者2名に対してPAC分析を行った。結果として調査参加者Aは、第1クラスター（「故郷を懐かしむ感情」、「過ぎ去った過去への寂寥感」、「夕焼け」の美しさへの感動）、第2クラスター（「過去の楽しい経験の懐古」）、そして、第3クラスター（「自然の壮大さや美への感情」）を示した。調査参加者Bは、第1クラスター（「懐かしさ」、「寂寥感」）、第2クラスターに（「懐かしさ」、「寂寥感とともに美しいもの」）、そして、第3クラスター（「懐かしさとともに過去を取り戻したい感情」、「美しく光を放つものへの感情」）を示した。

調査参加者Aに比べ調査参加者Bは、各クラスターに複数の感情が入り混じっており、解釈は容易ではない。しかし、2名の調査参加者共に、「懐かしさ」、「寂寥感」、「美しいもの」という3つの感情の存在が示唆されたと判断できる。これらを「あはれ」の第二義的感情と照らし合わせた結果を表2に示す。インタビューから解釈された「懐かしさ」、「寂寥感」、「美しいもの」というキーワードは、価値あるものに対する愛情と、それらが美化されたことにより生じる情趣、さらには、価値あるものの喪失の予感や、その体験から生じる郷愁と悲哀の表れであると考えられ、それぞれ「あはれ」の「郷愁」、「悲哀」、「優美」に対応していると考えられる。この点から、「エモい」と「あはれ」によって表現される感情の類似性が示唆される。したがって、「エモい」は現代版「あはれ」だと判断できる。

表2:「あはれ」と「エモい」の類似性

「あはれ」	第二義的感情の説明	「エモい」 (PAC分析結果)
郷愁	遠い昔の出来事、人物などを懐古する際の感情や昔に対する憧れや恋しさを表すノスタルジックな感情。また、自身の故郷を懐かしく想う気持ち。	懐かしさ
悲哀	喪失の予感や体験、回想に伴う感情。価値ある対象の喪失の予想や体験を通じて、「愛情」そのものが原初的純粹さに立ち返るもの。	寂寥感
優美	自然の状態や人間の態度に現れる美。人間や自然に対する「愛情」が優美により美化され、その対象は情趣あるものとして認識されるもの。	美しいもの

### 『和歌データベース』を利用した「あはれ」とともに用いられる名詞の分析

メリ(2000)は、現代人が「ものあはれ」の対象について、「散った桜花」や「秋の夜」を例に挙げ、その対象の多くが平安和歌の歌題であると指摘している。そこで、「エモい」が現代版「あはれ」であるならば、現代人が「エモい」と感じる対象は、和歌において「あはれ」と共起する可能性が高いと予測できる。そこで、PAC分析において2名の調査参加者が「エモい」と感じるモノやコトとして挙げた対象が、和歌の中で「あはれ」とともに共起している傾向があるかどうか調査した。

国際日本文化研究センターが提供している『和歌データベース』<sup>6</sup>には、190,423首の和歌が収録されている。検索を行った結果、「あはれ」を含む和歌は4,088首あり、その中で「あはれ」と共起する名詞は、「月」(346件)、「夕暮れ」(321件)、「花(梅、桜、撫子を含む)」(145件)、「春」(120件)、「秋」(94件)、「故郷・古郷」(3件)であった。

最も数の多い「月」は、調査参加者 A が提示している。「夕暮れ」については、調査参加者 A と調査参加者 B が共に「エモい」と感じると回答している。「夕暮れ」について両者の回答では、「地元・趣深い・風景的な綺麗さ・感傷的になる（調査参加者 A）」、「哀愁・綺麗な景色・懐かしさ（調査参加者 B）」といったキーワードが使用されている。これらの「夕暮れ」に関する回答は、「あはれ」を規定する第二義的感情である「郷愁」、「悲哀」、「優美」に対応していると解釈できる。

一般的に「花」、「春」、「秋」を「あはれ」と詠む和歌は、その情景の美しさ、物寂しさを詠むものが多く、季節や自然の風景を「あはれ」を詠んでいる。調査参加者 2 名は、PAC 分析において「景色」や「風景」を「エモい」の対象として挙げていたことから、「花」、「春」、「秋」との関連性を読み取ることができる。「故郷・古郷」について、調査参加者 A は「エモい」と感じる「地元の夕焼け」を連想している。調査参加者 B は PAC 分析の回答として「故郷の風景」を挙げていることに加え、インタビューの際には、「思い出」、「昔の記憶」、「昔の懐かしさ」を挙げた。これらは、「故郷・古郷」との関連性を示唆している。

以上の結果から、和歌において「あはれ」と共起する名詞と、PAC 分析において調査参加者が「エモい」の対象としたモノ、コトとの関連性が確認できた。よって、この結果は、「エモい」は現代版「あはれ」とする判断を支持しているように見える。

しかし、和歌において「あはれ」と共起する名詞のみに着目した本調査には、2つの問題が存在する。1つ目は、「あはれ」と共起する名詞の数に関する解釈についてである。和歌には、あらかじめ設定された歌題によって和歌を詠む「題詠」という詠法が存在する<sup>7</sup>。「月」や「花」といった名詞は、四季の歌題として定められている。これらの名詞は、和歌全体で使用される頻度が高く、「あはれ」との共起数も多くなることが予想される。そのため、「あはれ」と共起する名詞の数は、「エモい」と「あはれ」の関連性に関する確固たる証拠にはなりにくい。2つ目は、和歌の内容の解釈についてである。本調査では和歌の内容については精査していない。「月」と「あはれ」が共起する和歌の中には、「月」自体を「あはれ」と詠む歌もあれば、「月」が「あはれ」の対象となっていない歌も存在する。例えば、「月影にわが身をかふるものならばつれなき人もあはれとや見む（『古今和歌集』602番）」という和歌は「私が月になれば、つれないあの人も私を「あはれ」だと思ってくれるだろうか」という解釈がなされる。「月」の美しさを「あはれ」と詠む和歌ではなく、想いの通じない相手を想う恋心を詠んでいる。このように、『和歌データベース』には、「あはれ」と共起する名詞が「あはれ」の対象となっていないものが含まれている可能性がある。したがって、「あはれ」と共起する名詞の数のみを根拠に、「エモい」との関連性について判断を下すことは難しい。今後は和歌の内容と解釈を確認し、「あはれ」の対象を確定させることが必要である。

## 結論

本論文では2名の調査参加者を対象に PAC 分析を実施し、(1)「エモい」の使用者は、「あはれ」が示す感情の本質的要素である「郷愁」、「悲哀」、「優美」を表現するために「エモい」を使用するか、そして、(2)「エモい」は現代版「あはれ」だと判断できるか、の2つの調査課題について検討した。そして、調査参加者 2 名は、「懐かしさ」、「寂寥感」、「美しいもの」を表現する際に「エモい」を用いることが示唆された。この結果は、「あはれ」を規定する本質的要素の第二義的感情である「郷愁」、「悲哀」、「優美」と類似していると解釈できた。さらに『和歌データベース』（国際日本文化研究センター提供）を利用して、和歌において「あはれ」と共起する名詞と、PAC 分析において調査参加者が「エモい」の対象としたモノ、コトとの関連性に関する調査を試みた。

かつての日本人は「あはれ」と感じたモノやコトを和歌に詠み、自らの感情を他者と共有し共感を得た。「エモい」と感じたモノやコトを SNS で発信し、自らの感情を他者と共有し共感を得ようとするとき、我々はかつての日本人と同じように、「あはれ」の美を詠む「歌人」となるのだ。

## 謝辞

本論文の内容は、2022年11月19日（土）に西南学院大学で開催された大学英語教育学会（JACET）九州・沖縄支部第229回東アジア英語教育研究会において、筆者4名により共同で発表された。論文の内容についてコメントをくださった参加者のみなさまに感謝の意を表明する。なお、本論文の内容に関する全ての責任は筆者にあることを申し添える。

## 注

1. インタビューの結果に影響を与えないようにするため、アンケートはインタビュー後に実施した。
2. 調査参加者が回答しやすいように、いくつか例を与えた。
3. 歌手の玉置浩二（たまき こうじ、1958年－）の曲「メロディー」。
4. レンズ付きフィルムの商標名。
5. 歌手アイナ・ジ・エンド（1994年－）の歌声。
6. [https://lapis.nichibun.ac.jp/waka/waka\\_kigo\\_search.html](https://lapis.nichibun.ac.jp/waka/waka_kigo_search.html)
7. 詳細は、井上・大久保（1986）を参照されたい。

## 参考文献

- 荒川和久. (2017). 「独身を幸せにする『エモい』という感情の正体：インスタ映えに熱狂する人の心理とは？」東洋経済オンライン. <https://toyokeizai.net/articles/-/191015> (2022年5月15日参照).
- 飯間浩明. (2021). 「『エモい』は『あはれ』の子孫です…命削って作った三省堂国語辞典、始まって以来の大改訂」読売新聞オンライン. <https://www.yomiuri.co.jp/culture/20211229-OYT1T50086> (2022年5月15日参照).
- 井上宗雄・大久保正 他 (編). (1986). 『和歌大辞典』明治書院.
- 内田暁子. (1996). 「『枕草子』論攷：『あはれ』をめぐる」『大妻国文』27, 1-13.
- 北原保雄. (編集). (2003). 『小学館全文全訳古語辞典』小学館.
- 北原保雄. (監修). 「もっと明鏡」委員会. (編). (2006). 『みんなで国語辞典！：これも日本語』大修館書店.
- 塩見ありさ. (2020). 「『エモい』を解き明かす～文脈理解と物語構築の重要性～（私の言いたいこと〈新人部門〉）. 懸賞論文『入賞・入選作品集』49, 59-64.
- 清水文雄. (1968). 「『もののあはれをしる』ということ」『国語教育研究』14, 1-13.
- 高木廣文. (2007). 『HALBAU-7によるデータ解析』シミック株式会社.
- 内藤哲雄. (1997). 「PAC 分析の適用範囲と実施法」『信州大学人文学部論集』31, 51-87.
- MINE 編集部. (2021). 「エモいとは？意味・使い方を簡単に解説！エモい写真やエモい曲も紹介」MINE. <https://mine-3m.com/articles/105396> (2022年5月15日参照).
- メリ, マーク. (2000). 「『物のあはれ』の三つの要素」『詞林』28, 15-26.
- 茂木俊伸. (2018). 「『エモい』は『外来語形容詞四天王』になれるか？ 日本語研究者の熱視線」<https://www.itmedia.co.jp/news/spv/1807/15/news004.html> (2022年5月15日参照).
- 若山隆良. (2013). 「『もののあはれ』と臨床の知」『湘北紀要』34, 293-305.
- Domani 小学館. (2022). 「【エモい】はどのようなシーンで使うの？ 日常生活で若者言葉を活用してみよう」<https://domani.shogakukan.co.jp/452953> (2022年5月15日参照).

### 参考資料 A : 「エモい」の使用頻度に関するアンケート

○「エモい」に関して、以下の一番近いと思う番号を○で囲んでください。

1. あなたは「エモい」を頻繁に使うと思いますか。  
(1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない 4. そうは思わない 5. 全くそう  
思わない)
2. あなたは「エモい」を頻繁に目にする、あるいは耳にするとと思いますか。  
(1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない 4. そうは思わない 5. 全くそう  
思わない)

○最後に、今回行ったインタビューの内容を研究で使用することに同意いただける場合は、下の署名欄に署名をお願いいたします。なお、今回の研究で取得したデータや個人情報は研究目的以外には使用しません。

署名

### 参考資料 B : PAC 分析手順書

	調査者発言	作業
事前	「記録のために録音を行いたいのですが大丈夫ですか。」	・録音開始
自由連想	「あなたは『エモい』という言葉聞いてどのようなモノやコトを思い浮かべますか。思い浮かんだものやことを順にカードに記入してください。 例えば、『かわいい』という言葉聞いて、『ネコ』『ピンク』『メイク』などを思い浮かべる場合、それらを付箋紙に記入していく感じ です。」  「ありがとうございます。今記入してもらった中でも、あなたにとって「エモい」を象徴する中心的なものもあれば、中心的なイメージからは少しずれるものもあるかと思います。自分の中で重要度が高い順序に並べてください。」	・付箋紙に15個程度書いてもらう。  ・並び替えてもらう。
類似度評定	「では、先程挙げてもらったものを1ペアずつ、1～5段階でそれぞれのペアがどれくらい類似しているかを答えてもらいたいです。少し時間がかかるのですが、1つずつ丁寧に考えてください。」	・指標となる紙を渡す。 ・類似度評定をしてもらう。  ・録音停止、付箋紙等回収
事後	「おつかれさまでした。ご協力ありがとうございました。今日の結果をもとに約1週間後にインタビューをさせていただきたいと思います。引き続きよろしくお祈いします。」	